

(1) 構成

(2) 自己紹介

(3) これから留学を検討される方へ ～ハイデルベルク大学の特徴～

(4) これから留学に行かれる方へ

(5) これからハイデルベルク大学へ留学に行かれる方へ

(6) おわりに

(2) 自己紹介

2016年9月から2017年3月まで、ハイデルベルク大学大学院 Transcultural Studies 学部に留学しておりました。留学は2年生の冬学期に経験しました。ご質問等ございましたら、国際企画チーム青島めぐみさまにその旨お伝えいただけると、私の方で個別に対応することができますので、お気軽にご連絡いただければ幸いです。

(3) これから留学を検討される方へ ～ハイデルベルク大学の特徴～

本項では、ハイデルベルク大学を留学先として検討される方にお伝えしたい、ハイデルベルク大学の特徴について述べたいと思います。

① Transcultural Studies の授業の特徴を知る

留学先を検討する際に、自らの関心がある授業が提供されているのかを知ることは重要だと思います。ハイデルベルク大学の Transcultural Studies の HP¹を見て、プログラムの目的や概要について理解することができますが、²本項ではより詳しく授業内容を知るために、ハイデルベルク大学の Transcultural Studies で提供されている授業の検索方法をご紹介します。

・授業検索システム

- ハイデルベルク大学授業検索システム「LSF」<https://lsf.uni-heidelberg.de/qisserver/rds?state=user&type=0>へアクセス（「LSF Heidelberg」で検索してもアクセスできます。その際には画面右上にある言語変更をクリックして英語で表示されるようにしてください。）→画面左上にある「Courses」をクリックし、「Search for

¹ Transcultural Studies の修士プログラムについての HP は、こちら (<http://www.asia-europe.uni-heidelberg.de/en/studies/ma-transcultural-studies.html>) です。

² 私の個人的な留学経験にご関心がある方は、以下に私の留学の目的とその達成度について述べたいと思いますので、必要に応じてご覧いただければと思います。私がハイデルベルク大学 Transcultural Studies へ留学を希望した理由は主に二つあります。①海外の大学院で勉強することによって、自分とは異なるバックグラウンドを持つ様々な学生と切磋琢磨する経験を積みたかったため、世界各国から学生があつまるハイデルベルク大学に魅力を感じたからです。②当時、海外の政策の日本への導入について関心があった私は、異なる国の制度を比較できるようになりたいと考えていたため、Transcultural Studies のプログラムを通じて、比較をするために必要な考え方を学びたかったからです。実際、留学を終えて二つの目的は達成できました。①につきましては、私とは異なる経験をしてきた友人たちと、授業中はもちろんのこと、それ以外の時間でも政治や行政等様々なテーマについて議論する時間を多く持てたことで、自らの視野を広げることができたと考えています。②につきましては、「Introduction to Transcultural Studies」や「Introduction to East Asian Law」といった授業を通じて、比較研究を行ってきた先生方の考え方を学ぶことができました。

Lectures」をクリックすると、検索画面がでできます。³

・学期の指定

- 冬学期の授業を調べる場合は、「Term」欄で「WS2016/2017」を選択すると、2016年冬学期で提供された授業の一覧を見ることができます。また、夏学期の授業を調べる場合は、「Term」欄で「SS2017」を選択すると、2017年夏学期の授業の一覧が見られます。

・学部の指定

- 「Department」欄の「Select」ボタンをクリック
- 「Exzellenzinitiative」→「Exzellenzcluster」を順にクリック（ここはドイツ語ですが、Transcultural Studiesの授業内容の検索結果は英語ででできます。）
- 「Exzellenzcluster Asia and Europe in a Global Context: The Dynamics of Transculturality」という学部が出てきますので、ボックスにチェックを入れる。
- 「Start Searching」をクリックすると、Transcultural Studiesの授業の一覧がみられます。授業内容について詳しく見たいときは、授業タイトルをクリックしてください。

・その他の指定

その他には、授業で使われる言語による検索や、授業のタイトルによる検索も可能です。

・留意点

もちろん Transcultural Studies で提供されている授業以外の授業も受講が可能なので、ご興味に合う授業を検索してみるのがおすすめです。

② 留学生のサポート体制が充実

ハイデルベルク大学の留学生に対するサポート体制は充実しています。その具体的な例をいくつかご紹介します。

- ハイデルベルク大学の日本語学科またはハイデルベルク大学の学生によるバディ制度
私は日本に留学経験のある日本語学科の学生に日常生活のサポートをしてもらいました。そのため、ドイツ語があまり話せない私のような学生でも、留學生活で困ったことに直面した場合、バディのサポートのおかげで乗り越えることができました。

- ハイデルベルク大学日本語学科による生活用品の貸し出し
日本語学科が日本からの交換留学生に対して生活用品を貸し出してくれます。管理費として10ユーロの支払いが必要ですが、現地での日用品の購入を最小限に済ませられました。

- Transcultural Studies 学部の留学生担当の職員の方が親身
私はクリスティーナさんという留学生担当の職員の方にお世話になりましたが、留學前に疑問があった場合にメールで答えていただいたりしました。

③ ドイツの学生や留学生と交流する機会が豊富

ハイデルベルク大学ではもちろん現地のドイツの学生とも知り合う機会が多いです。また、ハイデルベルク大学では、Erasmus プログラムや大学間の交換留學プログラムで来る

³ ハイデルベルク大学の学生でなくても検索できます

留学生、さらには学位の取得を目的とする留学生等、留学生が学生の約3割を占めます。そのため、私自身、ドイツ語の語学の授業や **Transcultural Studies** の授業を通じて様々なバックグラウンドを持つ学生と友人になることができました。

④ ヨーロッパを旅行する際の各地へのアクセスが良好

週末や休暇の際には、バスや電車に乗ってヨーロッパ各地へ旅行することが可能です。場合によっては、ハイデルベルクから一時間ほどのフランクフルト空港から飛行機に乗って旅行に行くこともできます。

⑤ 課外活動が充実

ハイデルベルクの課外活動は自由に参加できます。毎回出席しなければならないという制約はなく、時間があるときや気が向いたときにいつでも参加可能です。私は、合気道やズンバ、空手、フィットネスなどのクラスに無料で参加しました。

⑥ 大学の施設が充実

図書館や食堂の設備が充実しています。図書館は静かで、中央図書館は毎日開いており、開館時間も長く、図書の取り置き等のサービスも充実しています。また、メインの食堂はビュッフェ形式でおいしくごはんが食べられます。費用は私の場合は一回3ユーロ程度。食堂は月曜日～土曜日まで昼から22時まで開いており、食事に困ることはありませんでした。また、食堂内にある学校のバーは月曜日～土曜日の昼から24時まで開いているので、友人との交流の場としてよく使いました。

⑦ ハイデルベルク大学を留学先として検討する際の留意点

ハイデルベルク大学を留学先として検討する際にご注意いただきたいのが、学期の期間です。ハイデルベルク大学の授業期間は、**Winter Semester** が10月～2月中旬、**Summer Semester** が4月中旬から7月末までです。授業が始まる前の1か月のドイツ語研修から行かれる場合は、9月の出発となります。このように、2学期間の留学へ行かれる場合は2か月の休暇を挟むという特徴や、帰国時期が2月～3月か7月～8月になるという特徴がハイデルベルク大学の留学にはありますので、ご自身の進路や、ご都合に合わせて留学の期間や行先を選んでいただければと思います。

(4) これから留学に行かれる方へ

本項では、これから留学される方のお役に立てるのではないかと考えた情報をお伝えしたいと思います。

➤ 現金の準備の仕方

現地通貨の準備の仕方はいくつかありますが、私はクレジットカードの海外キャッシングを利用しました。留学前に、クレジットカードで海外キャッシングを利用できるようにしておき、現地の銀行で一か月に一度現地通貨を引き出していました。銀行で引き出した後に、スカイプを通じて繰り上げ返済を行う旨をクレジットカード会社に伝え、オンラインでの指定口座への振り込みを通じて返済を行うことで、利子を最小限に抑えました。他の

留学生を見ていると、買い物はできるだけカードで支払うようにし、現地通貨を極力使わないようにしている友人等がいましたので、ご自身のご都合に合わせた支払い方法を検討されるといいと思います。

➤ **eduroam のアカウントを東大で取得**

ハイデルベルク大学の場合ですと、現地に到着してから大学のアカウントがもらえるまで少しタイムラグがありました。そのため、ハイデルベルク大学のアカウントでの学内のインターネットが利用できるようになったのは、現地到着後一週間経ってからでした。したがって、東大で **eduroam** のアカウントを取得してから留学へ行くと、**eduroam** に加入している留学先の場合、現地に到着後すぐに大学構内や図書館でインターネットが利用できると思いますので、**eduroam** のアカウントを事前にとることはおすすめですよ。

➤ **困ったことがあれば周囲へ相談を**

留学先では事前には想像もしなかった問題に直面することがあると思います。そのため、ご自身だけでは解決が難しい問題に直面した場合には、周囲へご相談されることをおすすめします。例えば、私は留学中に一人では解決が難しかったトラブルに直面したとき、**GrasPP** 国際企画チームへ相談させていただいた経験がありますが、親身にお話を聞いていただき、解決することができました。そのため、お一人だけで問題を抱え込まず、周りに相談するという選択肢があることを、留学中ご留意いただければと思います。

(5) これからハイデルベルク大学へ留学に行かれる方へ

本項においては、これからハイデルベルク大学へ留学に行かれる方のお役にたてるような情報を述べたいと思います。こちらには本当に重要なことしか書けなかったのですが、ご興味がありましたら、些末な留意事項につきましてまとめた資料もありますので、お問い合わせいただければお送りできます。

➤ **ビザ取得のための日本での準備は慎重に**

ドイツの学生ビザは現地に行ってから申請をします。特に厳しい審査のひとつに経済状況に対する証明があります。2016年にドイツの法律が変わり、ビザの取得のためには毎月735ユーロの経済力があることの証明が必要となりました（2016年冬学期時点）。そのため、**JASSO** の奨学金（8万円）の証明のみでは、経済力の証明としては少し足りないと思われる可能性があります。そのため、念のため日本のドイツ大使館で「経費負担証明書」を発行してからドイツへ渡航することをご検討していただきたいです。（詳細は、「ドイツ大使館 学生ビザ」で検索してご確認ください。）私自身は、**JASSO** の奨学金の受給証明書と経費負担証明書、そして現地の銀行口座の残高証明書の提出によって、経済力の証明をし、ビザを取得できました。ただ、ドイツの行政機関の許可業務については、行政官個人の裁量に依拠することが多いという話を聞くので、この書類を準備すれば大丈夫という情報は申し上げることができません。しかし、経済力の証明を補強する書類として「経費負担証明書」がありますので、ぜひ準備のご検討をお願いいたします。

➤ ドイツでの保険加入については慎重に検討を

さらに、ビザ取得のための厳しい審査の一つに保険があります。ドイツの行政機関の基準を満たす保険会社への加入が、ビザの取得要件のひとつとなっております。その場合、海外からの留学生が自国で加入した保険について、ドイツの行政機関の基準を満たさないといわれ、ビザの取得のためにドイツで保険を加入し直すことが必要な場合があることが調べているうちにわかりました。そのため、私はドイツの保険に加入しました。ドイツの保険には、法定の保険会社とプライベートの保険会社とがあります。両者の違いは様々ありますが、私は法定の保険会社（AOK）に入りました。理由は主に二つあります。第一に、法定の保険会社（AOK）はハイデルベルク大学内で加入手続きが簡便に行えるためです。第二に、プライベートの保険会社では、医療機関に行った場合、一度個人で費用を立て替え、その後保険会社へ申請をした後に、保険会社から費用の還付が行われますが、法定の保険会社（AOK）は本人の立て替えを必要とせず、保険会社が病院に直接費用を支払うので、事実上病院で個人が支払いを行うことなく医療機関を受診できるためです。ただ、法定の保険会社はプライベートの保険会社よりも、保険料が高いというデメリットはあります。留学の際にはぜひ保険の加入について慎重な検討をお願いいたします。

➤ 留学生のためのドイツで必要な手続きチェックリストを持っていくのがおすすめ

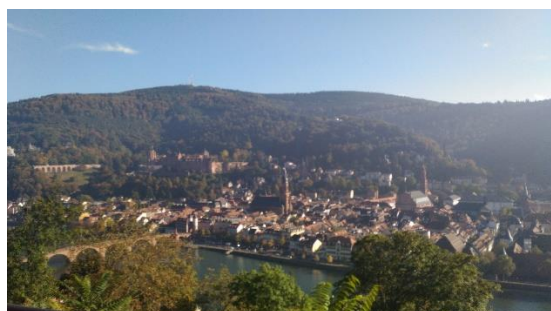
ハイデルベルク大学は、留学生が滞りなくドイツでの手続きができるように、毎学期留学生向けのチェックリストをウェブ上で公開しています。留学前には大学から留学準備に言及した冊子が送付されますが、こちらのチェックリストはドイツでの手続きについてより詳細に記してありますので、持っていくととても便利です。⁴参考までに 2017 年夏学期のチェックリストの PDF を張っておきますので、ご活用ください。⁵ (https://www.uni-heidelberg.de/md/zentral/international/checkliste_complete_eng_sose_17.pdf)

(6) おわりに

みなさまの留学に少しでもお役に立てることができれば幸いです。ご質問等ございましたらお気軽にお問い合わせください。ご一読いただきありがとうございます。



留学先で友人との送別会の様子



ハイデルベルクの街並みの様子

⁴ 留学した後に手続きをする中で、チェックリストと実際の手続きが多少違う点があることが判明しましたが、大筋はあっていたので、ドイツでの手続きを漏れなく行うために参考にするといいと思います。

⁵ こちらの PDF が毎学期掲載されるハイデルベルク大学の International Relations Office の掲載元の WEB ページを失念してしまい、見つけれませんでした。そのため、2017 年の冬学期にハイデルベルク大学に留学される直前には、「Heidelberg University International Relations Office checklist 2017 Winter」で検索されると、最新版の check list の PDF がヒットすると思うので、そちらを持参されるといいと思います。